

## 会 議 録

会議の名称	第3回結城市総合計画審議会
開催日時	令和8年1月26日（月）14時00分 から 15時05分
開催場所	市役所4階 庁議室
出席者	<p>委員                      佐藤（仁）委員、土田委員、田中委員、小笠原委員、塩森委員、大木委員、野原委員、石嶋委員、鈴木委員、石田委員、佐藤（ちさと）委員、高山委員                      ※大里委員、間井田委員、菊地委員欠席</p> <p>事務局                      西條企画財務部長、窪田次長兼企画政策課長、湯山課長補佐兼政策調整係長、古俣係長、広瀬主任</p>
議題	<p>(1) パブリックコメントの結果について                      (2) 第6次結城市総合計画後期基本計画及び第3期結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）〔原案〕について                      (3) 答申書（案）について                      (4) その他</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	なし
審議内容	<p>(1) パブリックコメントの結果について</p> <p>(主な発言内容)                      パブリックコメントに対する意見の提出者は2人ということで、非常に少ないと思うが、閲覧の総数は把握されているか。</p> <p><b>【事務局】</b>                      ホームページにおける意見募集ページの閲覧総数は719件である。各所窓口でも閲覧可能となっているが、閲覧時の手続は行っていないため、そちらの数は控えていない。</p> <p>意見5の定住支援策について、重点プロジェクト内では居住環境の創出という総論的な記載に留まり、重点事業としては土地区画整理事業等が挙げられている状況であるが、廃校等の活用した住宅整備などについて</p>

て、具体的な話はあるか。

**【事務局】**

廃校等を活用した住宅整備については、廃校等が正式に決まっていないため、具体化には踏み込めていない状況である。

(2) 第6次結城市総合計画後期基本計画及び第3期結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）〔原案〕について

(主な発言内容)

計画冊子のインデックスの部分について、全ての項目を記載せず、該当する基本目標のみ記してはどうか。

**【事務局】**

(色の濃淡について) より分かりやすくなるよう、調整を行う。

「英語学習推進事業」であるが、指標の授業時間数が少ないと感じる。授業だけでなく、「放課後子ども教室」や「放課後児童健全育成事業」などの放課後の時間を活用し取り組んでみてはどうか。また、増加している外国人住民のうち、英語が堪能で関心がある方を指導者として活用してはどうか。

**【事務局】**

結城市として特色ある学習の一つということで、英語教育に力を入れているところである。具体的な学習時間の部分については、学習指導要領等が関係してくるため、ご意見として担当課に伝えさせていただく。また、外国人住民による英語教育については、多文化共生という観点からも、外国人住民に対する日本語教育と相互に行うことなど、関係団体と内容について共有し検討したい。

以前提案した市内巡回バスの医療機関等を経由するルート作成について、その後の状況はいかがか。

**【事務局】**

来年度、医療機関やスーパーといった利便施設や乗車数の多い停留所を経由するなどといったダイヤ改正を予定しているため、医療機関へのアクセスは向上すると考えている。

交通機関については、東京への通勤に対する不満が高い。かつて運行していた水戸線から東京方面への直通列車のような便利な交通について、JRと交渉できないか。

**【事務局】**

小山市が事務局となり、両毛線や宇都宮線、水戸線の沿線自治体で宇都宮線・両毛線・水戸線・真岡鐵道沿線地域活性化推進協議会を組織し、毎年定期的に要望活動を行っているところである。ご意見についても地域活性化に繋がる内容としてお伝えさせていただく。

この計画は冊子による発信のみで、例えば目の見えない方や文字が読めない方などに配慮した、動画や音声発信などを行う予定はあるか。

**【事務局】**

現時点ではホームページ上への掲載による音声読み上げによる対応が考えられるが、より良い手法があれば対応を検討したい。

首都圏の鉄道などでは大半の人がスマートフォンを見ているため、ショート動画を作成し、魅力的なプロジェクトを紹介してはどうか。

動画作成について公募を行えば、関心のある小中学生などの応募もあるかもしれない。

**【小笠原会長】**

市役所としても可能な範囲で対応いただければと思う。他の自治体では職員が動画を作成している事例も増えてきているため、長期的にはそのようなスキルを持った職員採用を考えてもよいかもかもしれない。

「農畜産物販売促進事業」について、販売を行うための道の駅の設置など、販売所についての具体的な考えはあるか。

**【事務局】**

地産地消については、きらいちや各スーパーの販売コーナーにおける展開促進を行っている。

道の駅に対しては市民からのご意見等もいただいているため、調査・確認を行っていく。

**【小笠原会長】**

全国的に農業従事者が減少しているとともに、今後 10 年で人口減少

が進み、大規模農業生産法人などを作らねば、農業が持続できないという地域も出かねない。まさに農業に注目していくことが地域的にも重要であり、市役所にも尽力いただきたいと思っている次第である。

### (3) 答申書(案)について

#### (主な発言内容)

答申書における健康寿命日本一の記載であるが、審議会の答申という中では増加程度の表現が良いのではないか。

長野県は平均寿命が全国一位であるが、様々な取組を行うことで注目され、一位となった。健康寿命一位を目指すのであれば、目標値を持って、具体的な施策をあげて取り組んでいくことが必要ではないか。

結城市の特定健診の受診率は県内で下位となっている。このような部分から上げていかねばならない。先ほどのショート動画などで受診を促すなど、まず平均より上を目指してほしい。

計画課題の「健康・医療」における健康寿命日本一という記載は問題ないと思うが、実現に向けた具体的な施策は出ていないため、取組の記載や数値目標等まで落とし込む必要がある。

例えば肥満や痩せすぎといったBMIの数値や喫煙率、過度な飲酒の是正、健診の受診促進といったことから取り組むことで、最後に日本一が見えてくると思うので、まずは色々な数値を調査することから始まるのではないか。

#### 【事務局】

ご意見にあった各種数値的は保健福祉部において把握しているところであり、その数値を基に、野菜の摂取促進のための飲食店マップ作製、県のアプリである「元気アップ!り いばらき」の導入などに取り組んでいるところである。本日のご意見についても各部署へ伝えさせていただく。

答申書への記載については「日本一に向けて」という表現のため、よろしいのではないか。

	<p><b>【小笠原会長】</b> 健康寿命日本一の記載については、計画本体にも記載があるため、きちんと計画し、実行しようということではいかがか。この議論も丁寧に伝わっているため、取り組むものとして期待している。</p> <p><b>【事務局】</b> 毎年実施計画を作成する中で、本件は庁内で共有させていただく。</p> <p>⇒答申案について、委員に諮ったところ、原案のとおり、市長に提出することとなった。</p> <p>(4) その他 意見なし</p>
<p>問合せ先 (事務局)</p>	<p>結城市役所 企画財務部 企画政策課 政策調整係</p> <p>T E L     0296-34-0404 (直通)</p> <p>F A X     0296-32-7123</p> <p>e - m a i l   <a href="mailto:kikaku@city.yuki.lg.jp">kikaku@city.yuki.lg.jp</a></p>
<p>そ の 他</p>	